

漢方
小児科 婦人科
内科 産科
浮田医院
だより



第 34 号
発行所： 浮田 浮田医院
〒200-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
(パソコン) <http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>
(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/j/>
e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp
発行日：平成14年4月5日(金)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(34)

肝 I



春の訪れを感じたくて、近々の家々の庭の梅、桃、桜、アジサイなどのつぼみや花を探しに出かけたり、マキノの願慶寺や海津天神社の鮮やかな梅の花に感動したり、今津の西江寺の華やかな紅梅しだけ桜のそばで、ほっとしたひと時に浸ったりできました。書齋で育てている斑入榲も深山霧島も日ごとに二、四枚の葉をつけ、春のエネルギーの力強さを感じさせてくれます。この季節、どんな花に出会えるか楽しみです。

今月は、肝についてお話します。漢方の肝は**気分や情緒を調節し、自律神経や大脳に**関係して、内臓が円滑に働くようにし、情緒を安定させ精神状態を落ち着かせています。自律神経の作用を通じて、内臓の血管を収縮あるいは弛緩させ、内臓の血液

量を調整して、内臓に栄養を供給し、内臓の働きを助けています。また、ホルモン分泌を調節して、月経、妊娠、分娩が正常に行われるように調整しています。肝の血液は月経に変化する



黄金色の虫明湾(岡山県邑久郡)

ので、過多月経、過少月経、無月経などの方に、肝の治療をすることもあります。その他、筋肉、関節、瞳孔、レンズなどの運動神経に係わり、関節や筋肉の運動、視力を調整しています。肝の血液は涙に変化するので、目の乾燥のある方に、肝の治療をすることもあります。

では、実例を挙げましょう。二五歳女性、高校一年生の頃から気持ちに張りがなくなり、希望や意欲に乏しくなり、机にじっと座っていることができず、一人ぼっちで皆から取り残されているように感じ始め、高校二年の時から抗うつ剤を飲んでいきます。現在、抗うつ剤を飲みながら働けていますが、少しでも減らせないものかと思いついて来院されました。顔色は良好で、両頬は赤く、お腹は硬く、左右の肋骨下部に強い抵抗と圧痛を認め、脈は力強く触れました。舌は乾き紫紅色、薄い白黄苔があり、両側に歯の形、裏には太い静脈が見られました。そこで、肝の機能を調える作用のある柴胡加竜骨牡蛎湯と血液の流れを改善





する作用のある桂枝茯苓丸と言
う漢方薬を処方しました。一ヶ
月後、便秘、食欲、だるさ、寝
つき、熟睡感などの症状が減り、
三ヶ月後、抗うつ剤の量が半量
に、六ヶ月後三分の一になりま
した。一年後、抗うつ剤と漢方
薬を併用しながら、物事に感動
できるようになってきました。

二一歳女性、小さい頃より、
アトピー性皮膚炎、腹痛と下痢
と便秘に悩まされてきました。
顔色はすぐれず、乾燥してうす
黒く、お腹は軟弱、心下部に抵
抗を触れ、脈は細く沈み、舌は
暗紅色、中央に裂溝を認めまし
た。そこで、心の不安と胃腸の
不調を調整する作用のある半夏
瀉心湯を処方しました。一週間
後腹痛が消え、二週間後下痢と
便秘傾向も改善し、六ヶ月後廃
薬しました。

二九歳女性、三日前分娩。今
日から乳房痛、首と肩のこり、
頭痛が始まりました。脈は浮緊、
舌は淡紅色で薄白苔、お腹は柔
らかく、お臍の下に硬い子宮を
触れ、葛根湯と桔梗石膏を処方
しました。赤ちゃんにも十分に

お乳を吸わせたところ、翌日
は乳房の痛みも取れ、母乳もよ
く出始めました。

三二歳女性、一〇日前分娩。

昨晩は疲れて、授乳を一回中止
してしまいました。三八度、お
乳が痛く、急に食欲もなくなっ
たそうです。脈は浮緊で速く、
舌は鮮紅色で白黄苔、お腹は柔
らかく、右の肋骨下部に抵抗と
圧痛を触れました。そこで、葛
根湯と小柴胡湯加桔梗石膏を処
方。乳房マッサージを実施して、
赤ちゃんにも十分にお乳を吸わ
せたところ、翌日には乳房の痛
みも取れ、食欲も回復し、解熱
しました。

四月の終わりから五月の初め
は、高島、安曇川、新旭、今津、
マキノの各地で、お祭が盛大に
行われます。今年はどうな祭
に出会えるか楽しみです。次回
は、心についてお話しします。



〔院長〕



うつ状態

体や生活に不安や苦しみがあると、心はのびのびできず、言動や花、風景などに感動できなくなります。胸内苦悶、心臓の圧迫感、頭の空虚感、頭痛、不眠、人を避ける、自殺の企てなどで苦しみます。漢方医学では、**肝の異常**として捉え、**気分や情緒を安定**させようとします。面接、西洋薬、漢方薬などを総動員して、**生き生きした笑顔**を取り戻して下さい。



過敏性大腸

便秘、下痢と便秘の交替、下痢、粘液排出などのタイプがあり、排便前の腹痛、ゲップ、腹鳴、ガス、頭痛、めまい、動悸、疲労感、冷えなどの自覚症状で苦しみます。精神的ストレスを受けやすい方に多く、漢方薬がよく効きます。



乳腺炎

お産後2~3日でお乳が脹り始めます。乳汁の鬱滞により、乳房が赤く腫れて痛み、全身に発熱してきます。お乳の排出がうまくいかないのが原因なので、無理やり搾乳しないで、授乳、乳房マッサージ、漢方薬を上手に取り入れれば、ほとんどの方は問題なく母乳を与えることができるようになります。



当院の漢方治療



剤型について

- ・ エキス漢方薬：錠型タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・ 漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿る場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症について

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱、・・・などすべての症状が適応です。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩こり、腰痛、便秘、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え症、低血圧、過敏性大腸、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃炎、口内炎、口腔乾燥、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、帯状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産・早産、妊娠中毒症、産後回復不良、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、うつ病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬について

- ・ 軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせて治療。
- ・ 重症の病気、エキス漢方薬が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、子供の方、ご相談下さい(高齢の方もどうぞ)。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診断法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

保険証の確認

保険書は、毎月確認しますから、ご提出下さい。
保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、受付に早急に連絡して下さい。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫[ねんざ]・・・などの治療に利用しています。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に利用しています。

外用薬・点眼薬・点鼻薬

外用薬(漢方薬、アトピー、痒[かゆ]み、非ステロイド、ステロイド、抗生物質、抗真菌、保湿、にきび)、点眼薬(抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤)、点鼻薬(抗アレルギー剤)、喘息吸入薬、口腔用(口内炎、抗真菌、うがい)、湿布薬(冷、温)、痔(軟膏、座薬、漢方薬)・・・

肩こりと腰痛体操

毎日簡単にできる体操です。毎日、肩や腰の筋肉を動かして下さい。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き、処置の欄にチェックして下さい。

骨量測定 (4～6ヶ月毎)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・。
昇竜湯：神経痛、腰痛、肩こり、疲労回復・・・。
アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

駐車場

- ・ 北一駐車場(40台)(日曜、祝祭日：終日閉鎖)
月・水・金：午前8：30～夕方診の終了
火・木・土：午前8：30～午前診の終了
- ・ 東・南駐車場(11台)(終日駐車可能)

従業員募集

看護婦、助産婦の方、ご連絡下さい。面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。

外来診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	-
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	-	○	-	○	-	-

- ◆漢方外来(月～土)：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
- ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方・思春期の方(女性・男性、どなたでもお越しください)
- ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
- ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診・妊娠中の方(火)午前11:00～正午は産後健診、赤ちゃん健診
- ◆助産婦相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：4月16日、5月14日、6月11日、7月9日、8月6日(火)
対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

後期-母親教室

日時：4月9日、23日、5月7日、21日、6月4日、18日、7月2日、16日(火)
対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込み方法：申込ノートでご予約して下さい。

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

バンド・オ・フリユイ・ルージュ (Banda aux fruits rouges)は、ケースにフタージュを使い、帯状に仕上げたお菓子で、ふわっと膨れ上がったパイと盛り込んだ真紅のフルーツが華やかな表情を見せてくれます。

フランタン サブレ (Florentin sable)はアーモンドヌガーのサブレです。



妊娠中の下痢

下痢で脱水や感染が起こると、お母さんも赤ちゃんも脈拍が多くなります。発熱、嘔吐、腹痛、血液、ストレス、家族の症状などを参考にして治療をしますが、原則は温かい飲み物を十分に摂ることで、脱水症状(尿量減少)を伴えば、点滴で水分を補います(時に抗生物質を併用)。軽症であれば漢方薬で治療します。



分娩予約

当院で分娩を予定しておられる方、出来るだけ早く、受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**と**予約金5万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

立合い分娩

あらかじめ、受付でお申し込み下さい。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて、ウツキー! Dr. ウツキーの悩み相談、婦人科、産科、漢方、友達に教える、外来診療のご案内などを掲載 (i-mode 対応)。

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ、産婦人科のページ、当院の案内、当院への交通、周辺の観光地など掲載。ホームページの内容は、待合でも閲覧できます。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。お一人およそ、15～20分に対応します(無料)。
日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)。

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

第14回妊婦のための料理教室

日付：4月18日(木) 時間：午前10時～午後2時。
対象：妊婦の方(無料) 献立：フランス料理。